西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1499年	10月８日	明応八年	八月二十四日	その他	東寺百合文書ニ	室町幕府文書集成 2137	［室町幕府奉公人奉書 東寺雑掌宛て］善法寺雑掌申、八幡宮領山城国西八条西庄与東寺領同国久世上下庄以下五ケ庄用水相論事、被遂糺明、雖被折中之、既西庄可不作之間、依難測神慮、去明応六年如元一円被返付社家、被成奉書之処、未休云々、太不可然、所詮、早任度々御成敗之
1500年		明応九年		疫病：その他	和長記	日本災異志	霖雨、天下疫癘
1500年		明応九年		疫病	東寺過去帳	東大写本	諸国在々所々疫病死亡輩数千人／明応九春比病死輩也
1500年		明応九年		疫病	東寺過去帳	東大写本	諸国在々所々疫癘死亡輩数千人
1500年		明応九年		疫病	室町安土桃山時代医事年表	室町安土桃山時代医学史の研究	諸国疫疾流行
1500年		明応九年		疫病	厳助往年記上	改定史籍集覧 25-P347	此歳、人多病死也
1500年	４月５日	明応九年	二月二十七日	地震	後法興院記四	続史料大成 8	去暁大地震
1500年	５月９日	明応九年	四月一日	疫病	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P176	将亦世間疫病充満、以外也
1500年	６月24日	明応九年	五月十八日	その他：風害	和長記	日本震災凶饉攷	大風
1500年	８月６日	明応九年	七月二日	旱魃・渇水	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P179	晴、近日以外之炎天也、兼又彼猿万方于分行、京中乱満云々
1500年	９月１日	明応九年	七月二十八日	火災	和長記・厳助記・年代記抄節・日本野史	日本災異志	京都大火、柳原火起、延焼二一百餘町一、公卿、諸司、尼寺、佛院、武辨、士庶二萬餘家、文書貨財多蕩盡
1500年	９月２日	明応九年	七月二十九日	火災	後慈眼院殿御記	九条家歴世記録 2-P180	晴、早旦、各為見昨日之火事之処上洛、［　］帰日、関白御所并近衛・鷹司殿御所を始、日野・令泉両家、其外公家廿八ヶ所也、於武家当時執権之輩、数十ヶ所、都合二万三千余ヶ所也、大略、一条之南北如荒野、焼死者不知其数、先代未聞之大火事也云々、伝聞、於関白家三代正
1500年	10月６日	明応九年	九月三日	風害	後法興院記四	続史料大成 8	去夜風新造殿悉転倒訖、…其外民屋処々損云々、
1500年	６，７月 (6.7-7.6)	明応九年	五月	疫病	忠富王記	旱魃霖雨史料	炎旱并病事、御祈
1500年	６，７月 (6.7-7.6)	明応九年	五月	その他：大雨	和長記	日本震災凶饉攷	霖雨
1501年	５月８日	文亀一年	四月十一日	冷害・雪害	厳助往年記上	史籍集覧 55	雷雨霰降、大如大梅、数剋不消云々
1501年	５月８日	文亀一年	四月十一日	冷害・雪害	厳助往年記上	改定史籍集覧 25-P347	雷雨、霰降、大如大梅、数剋不消云々
1501年	５月17日	文亀一年	四月二十日	冷害・雪害	皇年代略記	新校群書類従 2-P220	大雹降、栗如、
1501年	７月８日	文亀一年	六月十三日	その他：風害	実隆公記	日本凶荒史考	今日所々大概吹損云々
1501年	８月７日	文亀一年	六月十四日	その他：風害	大乗院寺社雑事記・大乗院日記目録・実隆公記・言国卿記	綜覧 9-107	京畿大風雨
1501年	９月20日	文亀一年	七月二十八日	火災	分類本朝年代記	日本災異志	京師大火

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1502年	10月12日	文亀二年	九月二日	洪水	後慈眼院殿雑筆六	九条家歴世記録 3-P209	［渡領方百姓中書状（こりいけ殿宛て）］態注進申候、仍今度大水ニ御下地洪水入候て、田共そんし候て、めいわく仕候、其御領によらす、事外水損共にて候、御使い迄御心へにて、京都御代官御申にて可下候、其のためそれさめへ申候…
1502年	10月27日	文亀二年	九月十七日	その他：洪水	後慈眼院殿雑筆六	九条家歴世記録 3-P198	［渡辺善賀書状（ごちのひと宛て）］態一筆申候、仍従宇治渡領之今度大水共二年候とて、智恩院、美濃殿より此分注進候、
1503年		文亀三年		旱魃・渇水	暦仁以来年代記	続群書類従 29 下 -P232	年中大旱魃、天下一等（統）也、冬厳寒徹骨、古今稀云々、
1503年		文亀三年		旱魃・渇水	皇年代略記	新校群書類従 2-P220	大旱
1503年	7月15日	文亀三年	六月十二日	防災：旱魃・渇水	実隆公記四上・元長卿記・後法興院記・忠富王記他多数	綜覧 9-131	諸国炎旱、雨を諸社に祈る
1503年	6，7月 (6.5-7.3)	文亀三年	五月	旱魃・渇水	永禄年代記・暦仁以来年代記	旱魃霖雨史料	大旱魃、天下一等也
1504年		文亀四年		疫病	実胤卿記・後法興院記・実隆公記・大乗院寺社雑事記・会津旧事土□考他多数	綜覧 9-150	是歳、疾病流行す
1504年		永正一年		その他	皇年代略記	新校群書類従 2-P220	天下飢饉
1504年	2月25日	永正一年	一月二十九日	火災	二水記	日本災異志	下京火
1504年	6月7日	永正一年	四月十五日	冷害・雪害	実隆公記	日本凶荒史考	寒気甚
1504年	6月15日	永正一年	四月二十三日	防災	長福寺文書	室町幕府文書集成 2360	［室町幕府奉行人奉書梅津四ヶ村名主沙汰人中宛て］御料所城州梅津庄用水事、相談嵯峨下河端、任往古例、改井口、去年既堀取河原之処、至当年、相懸井料於過分、為彼下河端、及違乱云々、言語道断次第也、所詮、守御下知之旨、速堀取之、可専作毛之由、所被仰出之条、如件、
1504年	6月15日	永正一年	四月二十三日	冷害・雪害	実隆公記四上	続群刊行会	寒気甚
1504年	7月3日	永正一年	五月十一日	防災：旱魃・渇水	八坂神社記録	増補史料大成 46	（年次は推定）祈雨事、御教書到来…
1505年	7月4日	永正二年	五月二十三日	防災：疫病	東寺百合文書い六六	室町幕府文書集成 2397	［室町幕府奉行人奉書東寺雑掌宛て］疫癘消除御祈祷事、於神前、殊可被抽精誠之由、所被仰下也、仍執達如件、
1505年	7月8日	永正二年	五月二十七日	防災：疫病	東文書	室町幕府文書集成 2398	［室町幕府奉行人奉書松尾社御師東殿）宛て］疾癘消除御祈祷事、被相触一社中、殊可被致抽精誠之由、所被仰下也、仍執達如件、
1505年	7月8日	永正二年	五月二十七日	防災：疫病	北野社家日記・同廿一日条奥書	室町幕府文書集成 2398	［室町幕府奉行人奉書松梅院（禅光）宛て］疾癘消除御祈祷事、被相触一社中、殊可被致抽精誠之由、所被仰下也、仍執達如件、
1505年	11月17日	永正二年	十月十二日	洪水	目代日記	北野天満宮史料	山城生津代官江西庵罷上候テ、申子細者、彼芋代のまいる御下地川成になり候テ、…
1505年	6，7月 (6.12-7.11)	永正二年	五月	洪水	隆康私記	改定史籍集覧 24-P804	此月中雨降、無晴間、洪水超過也
1506年	8月28日	永正三年	七月二十九日	火災	二水記	日本災異志	御倉火
1507年	8月24日	永正四年	七月六日	洪水	実隆公記五	続群刊行会	宿雨洪水以外也
1508年	4月3日	永正五年	二月二十三日	火災	年代記抄節	日本災異志	男山八幡社火

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1508年	６月11日	永正五年	五月三日	洪水	壬生家文書六 - 五四頁	図書寮叢刊	［（裏文書）梵恕記］…雨、大水出、上河原ニテ人渡六人流ト云々
1508年	７月２日	永正五年	五月二十四日	洪水	実隆公記三八	史料9-1-329	宿雨洪水以外也
1508年	７月８日	永正五年	六月一日	洪水	実隆公記	大日本史料9-1	磯山弥三郎上洛…洪水路次難儀之趣演説之、以外之水也
1508年	７月８日	永正五年	六月一日	洪水	実隆公記三八	史料9-1-329	洪水路次難儀之趣演説之、以外之水也云々
1508年	７，８月(7.20-8.18)	永正五年	六月	洪水	実隆公記五上	続群刊行会	洪水路次難儀之趣演説之、以外之水也
1509年	３月４日	永正六年	二月四日	その他：大雨	目代日記	北野天満宮史料	彼榎並庄去年以外すいそんのことにて候、
1509年	３月28日	永正六年	二月二十八日	その他：大雨	実隆公記	大日本史料9-1	自晩陰雨、雷鳴風雨、入夜甚雷、発生之時候頗早速、又震雷之威絶常篇、諸人消肝、半更之後休
1509年	４月３日	永正六年	三月四日	その他：大雨	実隆公記	大日本史料9-1	自晩陰雨、雷鳴風雨、入夜甚雷、発声之時候頗早速、又震雷之威絶常篇、諸人消肝、半更之後休
1509年	５月31日	永正六年	五月三日	地震	勧修寺文書二	大日本史料9-1	天変地妖御祈祷事、近日専可令抽精誠給之由、所被仰下也
1509年	６月28日	永正六年	六月一日	洪水	実隆公記五	続群刊行会	磯山弥三郎上洛…洪水路次難儀之趣演説之、以外之水也
1509年	９月５日	永正六年	八月十一日	その他：風害	実隆公記四一	史料9-2-178	及晩暴風甚
1509年	９月19日	永正六年	八月二十五日	その他：大雨	実隆公記四一	史料9-2-178	雨降、暴風
1509年	９月21日	永正六年	八月二十七日	洪水	実隆公記四一	史料9-2-178	差下青侍於御牧…年貢事申付之、彼在所依先日之東風、洪水云々
1509年	10月３日	永正六年	八月十日	洪水	実隆公記四一	史料9-2-178	魚市塔森等差遣人之処、洪水、公用無了簡之由申之、為之如何
1509年	10月17日	永正六年	八月二十四日	防災	実隆公記	大日本史料9-2	石原庄水事注進、可築堤間事、惣庄申状進之
1509年	11月24日	永正六年	十月三日	防災	実隆公記	大日本史料9-2	石原庄水事注進、可築堤間事、惣庄申状進之
1510年		永正七年		その他	続本朝通鑑	史料9-3-6	是年諸国飢饉
1510年	９月20日	永正七年	八月七日	地震	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P234	夜大地震、天王寺石鳥居崩ル、浦々高塩充満、波荒シテ人家損失云々
1510年	10月１日	永正七年	八月十八日	その他：風害	宣胤卿記	日本震災凶饉攷	大風
1510年	10月３日	永正七年	八月二十日	風害	後法成寺尚通公記四	史料9-3-5	雨降大風、所々吹破了、言語道断之次第也、
1510年	10月３日	永正七年	八月二十日	その他：風害	拾芥記中	史料9-3-6	雨降大風、入夜吹収
1510年	１，２月(1.20-2.18)	永正六年	十二月	その他	目代日記	北野天満宮史料	内陣御灯御油廿二はい、但近年者、被油下地川成になり候とて、少事納候間十四はい御下行…
1511年	７月18日	永正八年	六月十四日	洪水	実隆公記五下	続群刊行会	今日差下人於御牧、富森等、洪水云々
1511年	７月18日	永正八年	六月十四日	洪水	実隆公記四四	史料9-3-685	今日差下下人於御牧、富森等、洪水云々
1512年	６月24日	永正九年	五月一日	洪水	実隆公記	史料9-4-380	雨降連日霖雨、洪水過法
1512年	８，９月(8.22-9.19)	永正九年	七月	その他	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P234	大飢饉、人多六、七月死、
1513年	６月14日	永正十年	五月一日	冷害・雪害	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P234	大霰降、其大如梅実也、
1514年		永正十一年		その他	清和院文書	向日市史料	［井内盛利等連署状（清和院宛）］当（富坂）庄御公用事…至永正拾壱年分者、就干水損、三拾五石之内半分、可致其沙汰候、更不可為以後之引懸候…
1514年	１月31日	永正十年	十二月二十六日	その他	東寺百合ヘ二〇〇	東寺文書３	（年次は推定）［上久世庄公文方へ遣之折紙案］…一、流田失米之事、過分候之間申候、但前々よりか様にある事候者、納所方へ尋候て、重而可申候／…

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1514年	2月1日	永正十年	十二月二十七日	その他	東寺百合ヘ二〇一	東寺文書3	（年次は推定）［山城上久世庄公文寒川家光書状］…一、流田御不審之儀、先々内検納所方被下候て、可有存知候、但分明ニ不被申候者、注可進候
1514年	5月28日	永正十一年	四月二十四日	地震	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P234	巳刻、大地震、
1514年	7月15日	永正十一年	六月十三日	旱魃・渇水	暦仁以来年代記	史料9-5-420	自六月十三日、至八月下旬大旱
1514年	9月23日	永正十一年	八月二十五日	地震	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P234	巳刻、大地震、
1514年	11月15日	永正十一年	十月十九日	その他	続本朝通鑑	史料9-5-420	雨灰
1514年	4，5月(4.5-5.4)	永正十一年	三月	その他	日本野史	日本震災凶饉攷	春飢饉
1514年	8，9月(8.30-9.28)	永正十一年	八月	旱魃・渇水	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P234	自六月十三日、至八月下旬、大旱、
1515年	6月24日	永正十二年	五月三日	洪水	守光公記	史料9-6-16	甚雨下…今日以外洪水
1516年		永正十三年		その他	山城国久世上下庄年貢米并公事銭算用状	教王8-2343	注進久世上下御年貢米算用状事…一、上久世庄…／十九石八斗五升当損免…／四石六斗二合流田分米…一、下久世庄…廿五石損免…
1516年	4月13日	永正十三年	三月二日	地震	暦仁以来年代記	続群書類従29下	卯刻、大地震、
1516年	5月22日	永正十三年	四月十一日	冷害・雪害	厳助往年記上	史籍集覧55	夜大霰其大如梅、四条五条川原水鳥当霰死云々
1516年	5月22日	永正十三年	四月十一日	冷害・雪害	皇年代私記	改定史籍集覧19-P76	大雹降、大如梅子、
1516年	5月22日	永正十三年	四月十一日	冷害・雪害	皇年代略記	新校群書類従2-P220	大雹降、大如梅子、
1516年	8月21日	永正十三年	七月十三日	洪水	年代記抄	日本震災凶饉攷	大風洪水
1516年	9月10日	永正十三年	八月四日	冷害・雪害	長享年五畿内兵乱記	日本の気象史料	雨雹如梅実
1516年	6，7月(6.11-7.9)	永正十三年	五月	洪水	年代記抄	日本震災凶饉攷	下旬京都洪水
1517年		永正十四年		その他	日本野史	日本震災凶饉攷	天下大に飢饉す
1517年	8月10日	永正十四年	七月十三日	洪水	皇年代略記	新校群書類従2-P220	暴雨、洪水、
1517年	9月23日	永正十四年	八月二十八日	火災	宣胤記	日本災異志	智恩院火
1517年	10月4日	永正十四年	九月九日	地震	暦仁以来年代記	資料9-7-307	夜半大地震
1517年	10月4日	永正十四年	九月九日	地震	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P235	夜半、大地震、
1517年	12月1日	永正十四年	十月八日	その他：風害	二水記	史料9-7-307	従去暁大風、今日不止、猶以外也
1517年	5，6月(5.31-6.28)	永正十四年	五月	洪水	暦仁以来年代記	資料9-7-307	下旬洪水
1517年	5，6月(5.31-6.28)	永正十四年	五月	洪水	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P235	下旬洪水
1518年		永正十五年		その他	日本野史	日本震災凶饉攷	天下飢饉人多死
1518年		永正十五年		その他	皇年代略記	新校群書類従2-P220	天下餓死、
1519年		永正十六年		その他	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P235	春夏大飢饉、死者多之、於悲田寺、施行、逐日有之、然者、助者有之云々
1519年	4月4日	永正十六年	二月二十五日	風害	厳助往年記	史料9-9-113	清滝宮後顛大杉倒、
1519年	4月4日	永正十六年	二月二十五日	風害	厳助往年記上	改定史籍集覧25-P356	大風一通清滝宮後大杉顛倒吉凶之内不審也
1519年	4月27日	永正十六年	三月十八日	地震	暦仁以来年代記	史料9-9-114	卯剋、大地震

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1519年	４月27日	永正十六年	三月十八日	地震	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P235	卯刻、大地震、
1519年	10月３日	永正十六年	八月三十日	洪水：風害	暦仁以来年代記	史料9-9-115	夜半、九月一日申剋、大風雨、処々大木吹倒、洪水、人死
1519年	10月３日	永正十六年	八月三十日	洪水：風害	暦仁以来年代記	続群書類従29下-P235	夜半、九月一日申剋、大風雨、処々大木吹倒、洪水、人死、
1519年	10月４日	永正十六年	九月一日	風害	厳助往年記上	史籍集覧55	大風雨、自卯刻吹初至亥刻、上醍醐杉松桧顛倒数数百本
1519年	10月４日	永正十六年	九月一日	風害	厳助往年記	史料9-9-113	大風雨、自卯剋吹初至亥剋、上醍醐杉松桧顛倒数数百本
1519年	４，５月(4.10-5.8)	永正十六年	三月	その他	暦仁以来年代記	史料9-9-115	春夏大飢饉、死者多之、於悲田寺施行逐日有之、然者助者有之云々
1519年	７，８月(7.7-8.5)	永正十六年	六月	その他	年代記	日本震災凶饉攷	自春至夏、諸国大飢饉、餓死多し
1520年	６月22日	永正十七年	五月二十七日	その他：大雨	永正十七年記	改定史籍集覧25-P411	今夜雷鳴不可説也、荒雨超過也、
1520年	７月９日	永正十七年	六月十五日	洪水	永正十七年記	続群書類従868	大雨洪水
1520年	７月９日	永正十七年	六月十五日	洪水	永正十七年記	史料9-11-356	大雨洪水
1520年	７月９日	永正十七年	六月十五日	洪水	永正十七年記	改定史籍集覧25-P412	大雨洪水、
1520年	７月９日	永正十七年	六月十五日	洪水	永正十七年記	続群書類従29下-P402	大雨洪水、
1523年	５月28日	大永三年	四月四日	その他：大雨	実隆公記	史料9-17-280	入夜暴雨
1524年	２月６日	大永三年	十二月二十二日	火災	杉山年代記	日本災異志	京都火、宮後失レ火、三四家焼亡、童子焼死
1524年	９月22日	大永四年	八月三日	洪水	紀事・年代記略	日本震災凶饉攷	大風雨洪水
1525年		大永五年		疫病	室町安土桃山時代医事年表	室町安土桃山時代医学史の研究	諸国痘瘡流行す
1525年		大永五年		その他	異本塔寺長帳	原田信男［中世東国災害史略年表］	この年天下飢饉
1525年	10月７日	大永五年	九月十一日	風害：洪水	二水記	日本の気象史料	今日差下人於御牧富森等、洪水云々風烈以外也、簿暮大風起、禁中所々及破損、私宅各吹損、近年之風也…伝聞、在家大略無事家無
1525年	８，９月(8.29-9.26)	大永五年	八月	地震	異本塔寺長帳	原田信男［中世東国災害史略年表］	日本大地震、特に鎌倉大地震、由比ヶ浜入江平地となる、陸奥国大風雨、日本悪作
1526年		大永六年		虫害	厳助往年記上	改定史籍集覧25-P361	当年、虫損之故、年貢三分一抑留由、百姓注進之云々、言語道断之次第也、
1527年	４月６日	大永七年	二月二十五日	火災	二水記	日本災異志	相国寺鹿苑院火
1527年	９月14日	大永七年	八月九日	その他：大雨	言継卿記一	新訂増補言継卿記	暮より雨下、夜入終夜以外之大雨也、雷鳴
1527年	９月15日	大永七年	八月十日	洪水	言継卿記一	新訂増補言継卿記	昨夜大雨、大水出候了
1527年	９月17日	大永七年	八月十二日	その他：大雨	言継卿記一	新訂増補言継卿記	夜入以外雨下、風吹雷鳴
1528年	８月24日	享禄一年	七月二十九日	旱魃・渇水	二水記三	大日本古記録	民戸炎旱及難儀、北ミソロ（深泥）池・西広沢池等、為用水切落之云々、近年炎旱云々、及三四十日不雨歟、草木枯［　］色也、此辺井水汲淵底、勝事之躰也、祈雨事諸寺被仰出之、依触穢不及神社云々、去年当年大乱、又秋税可為未熟云々、凶年連続
1528年	８月25日	大永八年	八月一日	旱魃・渇水	実隆公記七	続群刊行会	入夜甘雨降炎旱及百日、蒼生小蘇息歟

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1528年	12月１日	享禄一年	十月十日	冷害・雪害	厳助往年記上	改定史籍集覧 25-P364	子剋計、雷鳴、大霰降、半時計也、諸人仰天、至翌朝不消、大如梅、勢鴈・鴨・鹿・兎等、当霰死事、不知其数、各拾得之、令悦喜云々、希代事也
1529年	１月19日	享禄一年	十一月二十九日	その他	二水記三	大日本古記録	小寒中以外事也、老翁云、五十年以来如此事不覚云々、硯池雖日中一円難解氷、右筆不容易也、巷説云、洪州湖水六七町氷云々、希有事歟〈又云、宇治川閉塞云々〉
1529年	７月９日	享禄二年	五月二十四日	洪水	タネ通公記	九条家歴世記録 4-P47	夜雨不［　］大洪水…
1529年	８月16日	享禄二年	七月三日	防災：旱魃・渇水	厳助往年記上	史籍集覧 55	同日祈雨事被仰出、当年以外之炎旱也
1529年	８月16日	享禄二年	七月三日	防災：旱魃・渇水	厳助往年記上	改定史籍集覧 25-P365	祈雨事、被仰出、当年以外之炎旱也、
1529年	８月31日	享禄二年	七月十八日	地震	タネ通公記	九条家歴世記録 4-P57	大地震
1529年	９月３日	享禄二年	七月二十一日	その他：風害	タネ通公記	九条家歴世記録 4-P57	大風アリ
1530年	７月15日	享禄三年	六月十一日	洪水	続史愚抄	旱魃霖雨史料	加茂川洪水…無通路云
1530年	７月15日	享禄三年	六月十一日	洪水	続史愚抄	旱魃霖雨史料	加茂川洪水…無通路云
1532年	７月10日	天文一年	五月二十七日	その他：大雨	言継卿記一	新訂増補言継卿記	雨下、夜半時分大夕立、以外電雷
1532年	７月11日	天文一年	五月二十八日	その他	言継卿記一	新訂増補言継卿記	去夜之雷之時分、清水寺之滝へ之廊、滝之前之腰懸所、巡礼堂等破滅云々、…先之巡礼堂内、巡礼三四十人有之、老僧来て、今夜此所に有之、可有大事、本堂へ可来之由申候間、各本堂へ参、中に五六人残候、悉押流候、雖然無難候了、是又観音…
1532年	７月12日	享禄五年	五月二十九日	洪水	厳助往年日記上	史籍集覧 55	夜大夕立、雷清水落、旦過其外廻廊以下、水押流不思議有之、大津相坂関屋同夜流失、所々田畠水損以外事也、先代未聞
1532年	７月12日	享禄五年	五月二十九日	洪水	厳助往年日記上	改定史籍集覧 25-P368	夜大夕立、雷清水落、且過其外廻廊以下、水押流、不思議有之、大津・相坂関屋、同夜流失、所々田畠水損以外事也、先代
1533年	12月13日	天文二年	十一月十八日	火災	年代記首書・残太平記	日本災異志	梅宮火
1534年		天文三年		疫病	室町安土桃山時代医事年表	室町安土桃山時代の医学史の研究	諸国疫病流行
1534年		天文三年		洪水：疫病	異本塔寺長帳	原田信男［中世東国災害史略年表］	この年、不作洪水、疫病流行、人多死
1534年	２月22日	天文三年	一月二十九日	火災	厳助記	日本災異志	月讀宮火
1534年	９月20日	天文三年	八月三日	風害	言継卿記一	新訂増補言継卿記	四時時分より雨下、七時分より至夜半過大風及暁天、…大風に北之壁十間許吹臥候了、所々屋上壁等吹落候了、毎家之馳走近来事也、谷之城今日之風雨に、やくら壁等吹破云々、仍
1534年	９月21日	天文三年	八月四日	洪水	言継卿記一	新訂増補言継卿記	夜半中至今朝、谷之城焼云々、乍去大井河水事之外深候て、諸陣各西岡有之云々
1534年	９月27日	天文三年	八月十日	洪水	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P77	大雨洪水、
1534年	９月27日	天文三年	八月十日	洪水	皇年代略記	新校群書類従 2-P221	大雨・洪水、
1534年	７，８月 (7.21-8.19)	天文三年	六月	疫病	年代記首書	日本疾病史	是春夏、疫行、死者多
1534年	７，８月 (7.21-8.19)	天文三年	六月	疫病	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P77	春夏、天下疫病、死人不可勝計

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1534年	7，8月 (7.21-8.19)	天文三年	六月	疫病	皇年代略記	新校群書類従 2-P221	春夏、天下疫、病死人不可勝計
1535年	3月18日	天文四年	二月五日	風害：その他	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P816	大雨、自辰剋晴…今夜初夜時分、大風起、所々吹破、日華門同廊顛倒、言語道断也、可懼可欣々々
1535年	4月６日	天文四年	二月二十四日	旱魃・渇水	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P818	此間、夕陽日赤、旱歟、尤可為祈念、民間之愁也、還而当年五穀豊饒簡要也云々、
1535年	4月26日	天文四年	三月十四日	旱魃・渇水	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P821	陰雨淋、陰晴不定、旱歟云々、
1535年	4月28日	天文四年	三月十六日	旱魃・渇水	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P821	陰又日出、久旱之故也、民間晴請雨云々、不便々々
1535年	4月29日	天文四年	三月十七日	旱魃・渇水	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P821	天晴、久不雨、旱魃之至也、
1535年	4月30日	天文四年	三月十八日	その他	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P821	天陰不雨下、終日風飄、申刻雨如霧下、
1535年	5月５日	天文四年	三月二十三日	旱魃・渇水	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P822	早旦陰、又雨降、此間旱魃、頗如甘樹也、
1535年	7月24日	天文四年	六月十四日	旱魃・渇水	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P832	天晴、此間炎旱、万民大概饑饉之由、有沙汰
1535年	8月８日	天文四年	六月二十九日	防災	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P833	天晴、且陰又晴、暴雨雷鳴、今日祈雨諸寺・諸社へ被仰出、宣治相触也、鹿処ニ雨降、甚以奇瑞也
1535年	8月９日	天文四年	七月一日	その他：大雨	後奈良院宸記	改定史籍集覧 24-P834	雨降、終日夜甚雨、…後聞、昨日雷、西京辺落云々、可怖々々
1535年	9月10日	天文四年	八月三日	洪水	八坂神社記録二（祇園執行日記）	増補続史料大成 44	大風大水
1536年	7月27日	天文五年	六月三十一日	火災	厳助記	日本災異志	伯瀬寺火
1539年	10月９日	天文八年	八月十七日	洪水	親俊日記一	続史料大成 13	一、百年以来洪水
1539年	10，11月 (10.22-11.20)	天文八年	九月	虫害	厳助大僧世記	日本震災凶饉攷	秋蝗あり諸国実らず
1539年	7，8月 (6.26-7.25)	天文八年	六月	洪水：虫害	厳助往年記上	改定史籍集覧 25-P374	閏六月、同八月十五、六、大洪水、当年世不熟、虫損過此、以外事云々、
1540年		天文九年		疫病	分類本朝年代記	原田信男［中世東国災害史略年表］	諸国飢饉、死者数十万、疫病流行
1540年	2月25日	天文九年	一月八日	疫病	厳助往年記上	史籍集覧 55	一、当春世上大キヽン、非人数千万、餓死不知其数、於上京下京之間、春夏中毎日六十人計死人捨之、於誓願寺非人施行、春中有之、一天下人大疫都鄙死亡不知幾千万、七百余歳已来如此例無之云々、春夏秋中諸人相煩者也…
1540年	5月６日	天文九年	三月二十日	防災：疫病	東寺百合い一〇四	東寺文書 1	［幕府奉行蓮署奉書］疫病消除御祈祷事、殊可被袖懇符之由所被仰下也…
1540年	5月６日	天文九年	三月二十日	防災：疫病	東寺百合文書い十四	室町幕府文書集成 3447	［室町幕府奉行人奉書　東寺雑掌宛て］疫病消除御祈祷事、殊可被袖懇符之由、所被仰下也、仍執達如件、
1540年	5月25日	天文九年	四月九日	洪水	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P77	洪水、民屋漂蕩
1540年	5月25日	天文九年	四月九日	洪水	皇年代略記	新校群書類従 2-P221	洪水、民屋漂蕩
1540年	6月28日	天文九年	五月十四日	洪水	大館常興日記二	続史料大成 16	入夜大雨／一、今夜之中過より洪水、諸ノ家板敷をこす也
1540年	6月29日	天文九年	五月十五日	洪水	大館常興日記二	続史料大成 16	夜洪水
1540年	6月30日	天文九年	五月十六日	その他：大雨	大館常興日記二	続史料大成 16	昼時分より大雨、
1540年	7月２日	天文九年	五月十八日	その他：大雨	大館常興日記二	続史料大成 16	大雨

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1540年	7月4日	天文九年	五月二十日	洪水	大館常興日記二	続史料大成16	今朝日行事より各へ折紙在之／今度依洪水、大津海道今路已下馬車之通路以外損候、至東坂本御用之儀御座候間、路次可作之由、被仰出候、然者、在々所々被成御下知、可然奉存旨、開闔申之候、可有如何候哉、各御存分一途可有御申之由、被仰出候、恐々謹言、／五月十九日摂津守
1540年	8月29日	天文九年	六月十七日	疫病	後奈良天皇宸筆般若心経奥書	綜覧10-89,日本凶荒史考	今□天下大疫、万民多□於死亡、躾為民父母、徳不能覆、甚自痛焉竊写般若心経一巻於金字…庶幾□為疫病之妙薬矣
1540年	9月21日	天文九年	八月十一日	その他：風害	御湯殿上日記他多数	綜覧10-94	大風雨
1540年	9月21日	天文九年	八月十一日	その他：風害	厳助往年記上	史籍集覧55	大風天下一同云々、
1540年	9月21日	天文九年	八月十一日	その他：風害	厳助往年記上	改定史籍集覧25-P376	大風天下一同云々、
1540年	4，5月(4.17-5.16)	天文九年	三月	その他	厳助往年記上	改定史籍集覧25-P375	当春、世上大キヽン、非人数千万、餓死不知其数、於上京・下京之間、春夏中、毎日六十人計死人捨之云々、於誓願寺、非人施行、春中有之、一天下人大疫、都鄙死亡、不知幾千万、七百余歳已来、如此例無之云々、春夏秋中、諸人相煩者也、高野・叡山之輩、発病衆数多云々、於上
1540年	7，8月(7.14-8.12)	天文九年	六月	疫病	皇年代私記	改定史籍集覧19-P77	春夏、天下疫病、人多死、
1540年	7，8月(7.14-8.12)	天文九年	六月	疫病	皇年代略記	新校群書類従2-P221	春夏、天下疫病、人多死、
1541年	9月11日	天文十年	八月十一日	風害	皇年代私記	改定史籍集覧19-P77頁	大風、禁中殿門多顛倒
1541年	9月11日	天文十年	八月十一日	風害	皇年代略記	新校群書類従2-P221	大風、禁中殿門多顛倒
1541年	9月12日	天文十年	八月十二日	風害	厳助往年記上	史籍集覧55	大風雨前代未聞、禁中所々顛倒…洛中洛外都鄙在家竹木山林顛倒、言語道断次第也
1541年	9月12日	天文十年	八月十二日	風害	厳助往年記上	改定史籍集覧25-P377	大風雨、前代未聞、禁中所々顛倒、陣座宜陽殿近廊、月華門車寄、外様番所以下、所々顛倒散之、洛中洛外、都鄙在家、竹木山林顛倒、言語道断次第也、大財川渡世多渡水吹上之人渡川、前代未聞珍事也云々、
1544年	6月29日	天文十三年	五月二十九日	その他：大雨	言継卿記二	新訂増補言継卿記	今日可上洛之処、雨降故延引
1544年	6月30日	天文十三年	六月一日	その他：大雨	言継卿記二	新訂増補言継卿記	今日も上洛之事、雨故延引候了、皆々所労之輩得験気候了
1544年	7月1日	天文十三年	六月二日	洪水	言継卿記二	新訂増補言継卿記	今日五時分為上洛発足、水出候間、方々まはり、七時分山崎へ付候、一宿候了
1544年	7月2日	天文十三年	六月三日	洪水	言継卿記二	新訂増補言継卿記	従山崎五時分発足、たうの森水出無通路云々、仍西岡進、桂へ
1544年	7月19日	天文十三年	六月二十日	その他：風害	言継卿記二	新訂増補言継卿記	雨降、終日終夜大風雨
1544年	8月6日	天文十三年	七月八日	その他：風害	言継卿記二	新訂増補言継卿記	大風雨
1544年	8月6日	天文十三年	七月八日	その他：風害	言継卿記二	新訂増補言継卿記	風吹之間、柳原屋上等人遣、合力候了、福生庵見舞候了
1544年	8月6日	天文十三年	七月八日	洪水	厳助往年記上	改定史籍集覧25-P379	四条道場阿弥陀閉帳、自去月開帳云々、此本尊釈尊御作、天竺無常院御本尊也云々、希代霊仏神変多之、九日大洪水、併此開帳故也風聞云々、洛中所々洪水ニ流失、前代未聞不思儀有之、
1544年	8月7日	天文十三年	七月九日	洪水	厳助大僧正記	日本震災凶饉攷	畿内洪水、摂津及び河内其害甚し

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1544年	8月7日	天文十三年	七月九日	洪水	言継卿記二	新訂増補言継卿記	大雨、晩天晴、大洪水、早朝、禁裏辺、其外室町小路東之河原大水之間、広橋父子、予、極＊父子、白光院等令同道、見物了、後、禁中以外水之由候間、白衣にて見舞に参…台屋中間迄水入、車寄迄水付、御門之前五尺計也、…方々土い堤切落、則、水引候了、…洛中洛外以外之洪水
1544年	8月7日	天文十三年	七月九日	洪水	言継卿記二	新訂増補言継卿記	九日水下辺之体無正体之由雑談、淀、鳥羽上下、富森、横小路等、半分流云々、于今他（多）分不帰往云々
1544年	8月7日	天文十三年	七月九日	洪水	厳助往年記上	史籍集覧55	大洪水、京中人馬数多流失、在家町々釘抜門戸悉流失、四条五条祇園大鳥井流失、禁中西方築地損、於四足等御門者、従武家奉公衆馳参、無別儀云々…前代未聞珍事也
1544年	8月7日	天文十三年	七月九日	洪水	厳助往年記上	改定史籍集覧25-P379	大洪水、京中人馬数多流失、在家町々釘抜門戸悉流失、四条五条、祇園大鳥井流失、禁中西方築地損、於四足等御門者、従武家奉公衆馳参、無別儀云々、東寺南大門西歟、至四塚、着舟云々、日吉大宮橋流落、其外、叡山諸坊数字、又僧俗児若衆数十人流死、至淀・鳥羽辺流留、
1544年	8月7日	天文十三年	七月九日	洪水	皇年代私記	改定史籍集覧19-P77	洪水、陸地如行船、前代未聞、
1544年	8月7日	天文十三年	七月九日	洪水	皇年代略記	新校群書類従2-P221	洪水、陸地如行船、前代未聞、
1544年	8月8日	天文十三年	七月十日	洪水	言継卿記二	新訂増補言継卿記	河原下京辺、白光院令同道見物了、四条道場為体浅猿也、下京家中悉水入云々、方々逃云々、不及言語事也、今日、和泉堺之船付東寺之前云々
1544年	8月30日	天文十三年	八月二日	洪水	皇年代私記	改定史籍集覧19-P77	大洪水
1549年	11月18日	天文十八年	十月十九日	疫病	言継卿記二	新訂増補言継卿記	九時時分、松田九郎左衛門来、息以外頻敷之由申、様躰苦間敷之由申て返了、早朝人遣之処、疹豆出現、聊見直之由申候了…大略可為疱瘡歟之由、了申候（二十六日遠行）
1550年	9月9日	天文十九年	七月十八日	風害	言継卿記三-七〇頁	国書刊行会編	野分事外吹起之間、禁中見舞申候了…次参内、以外風吹了、暁天見廻之処、方々破損、議定所之西壁〈六間〉損之、御悉之東はた板、其外六七ヶ所損了
1550年	9月10日	天文十九年	七月十九日	風害	言継卿記三-七一頁	国書刊行会編	愚亭一両所昨夜之風に損云々、大沢掃部助馳走直之云々
1550年	9月22日	天文十九年	八月二日	洪水	年代記首書	日本震災凶饉攷	大水
1550年	9月23日	天文十九年	八月三日	その他：大雨	言継卿記三-七五頁	国書刊行会編	自昨日深雨、八月中
1550年	9月24日	天文十九年	八月四日	洪水	言継卿記三-七六頁	国書刊行会編	雨降、洪水、自未刻晴
1550年	10月10日	天文十九年	八月二十日	その他：大雨	言継卿記三-八〇頁	国書刊行会編	陰、自巳刻雨降、夜深雨…深雨之間、其間々祇候了
1551年	2月17日	天文二十年	一月二日	その他：大雨	言継卿記三-一一八頁	国書刊行会編	広橋父子令同道退出、路次中俄大風雨、令迷惑者也
1551年	2月22日	天文二十年	一月七日	その他：風害	言継卿記三-一一九頁	国書刊行会編	自亥刻終夜寒風、正月中
1552年		天文二十一年		火災	如是院年代記	日本災異志	建仁寺火
1553年	4月16日	天文二十二年	二月二十四日	風害	言継卿記三-二六四頁	国書刊行会編	予、嵯峨之六王院之厚首座、東坊三人令同道登山、自河原雨降、坂にて大風、笠吹破之間、各悉平にぬれ了、言語不可説為

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1553年	9月3日	天文二十二年	七月十六日	その他	言継卿記三-二九七頁	国書刊行会編	葉室へ罷向、中御門同道、次松尾社務所へ罷向、留守之間申置、水論之儀、無心云之由申、中御門・予両人、芥川島養兵部丞方へ書状相調、以飛脚遣之、予調之、文章如此、／松尾社家与四ヶ郷用水相論之儀、既可糺明之由候、隣郷之事候間、以中分落居候様候者、可然候歟、両人申
1556年	4月3日	弘治二年	二月十三日	地震	言継卿記三-四六四頁	国書刊行会編	申刻大地震
1557年		弘治三年		その他	逸史・野史	日本震災凶饉攷	大に饑饉し餓孚相望む
1557年	1月12日	弘治二年	十二月二日	疫病	言継卿記三-四八五頁	国書刊行会編	京中疱瘡以外相煩、失予之輩不知其数云々
1557年	6月5日	弘治三年	四月二十八日	火災	厳助記・日本野史	日本災異志	上京火、延焼_數百家_
1557年	9月27日	弘治三年	八月二十五日	その他	細川両家記	日本凶荒史考	始東風吹て後南風吹、高汐上り、尼崎、別所、難波、鳴尾、今津、西宮、兵庫、明石の浦々へ上る、取分尼崎にて、六十一人流死するといふなり、〇之、里々堤は平等に成なり、むかしこの浦高汐の上る事、八十三年に当るなり、依之、米売買金一両に五升（或作斗）なり
1557年	9月28日	弘治三年	八月二十六日	その他：風害	御湯殿上日記	綜覧 10-444	山城摂津大風
1557年	3，4月 (3.11-4.9)	弘治三年	二月	疫病	厳助往年記下	改定史籍集覧 25-P398	世上諸人、自旧冬疱草ハシカ無不相煩、小児老者悉以相煩者也、万里弁、其外…以上八人迄ハシカ煩也云々、若宮様称名院延命院同前也、寄代之凶年也、…
1557年	7，8月 (7.7-8.4)	弘治三年	六月	旱魃・渇水	細川両家記	日本震災凶饉攷	夏大旱
1558年		弘治四年		旱魃・渇水	分類本朝年代記	日本災異志	天下大旱
1558年		弘治四年		旱魃・渇水	分類本朝年代記	日本災異志	天下大旱
1558年		永禄一年		旱魃・渇水	皇年代略記	新校群書類従 29 下 -P274	天下大旱
1558年	8月25日	永禄一年	七月二日	冷害・雪害	言継卿記五	続群書類従完成会	西岡・山崎等大雹云々
1558年	9月28日	弘治四年	八月二十六日	その他：風害	御湯殿上日記他多数	綜覧 10-444	山城摂津大風
1558年	10月30日	永禄一年	九月九日	冷害・雪害	言継卿記五	続群書類従完成会	山中雪降
1559年	7，8月 (7.15-8.13)	永禄二年	六月	防災：旱魃・渇水	厳助往年記上	史籍集覧 55	世上大旱干、雨御祈事所々被仰出之、
1559年	7，8月 (7.15-8.13)	永禄二年	六月	防災：旱魃・渇水	厳助往年記下	改定史籍集覧 25-P401	世上大旱干、雨御祈事所々被仰出之、
1560年	1月20日	永禄二年	十二月十三日	冷害・雪害	言継卿記六	続群書類従完成会	自子刻、至卯刻、雪降九寸、廿余年以来深雪也
1560年	7月8日	永禄三年	六月五日	その他	目代日記	北野天満宮史料	当年、日そんニ付、御忌日伝田ニ、粟、きひ成共まき可申と百姓申候由候也、
1561年		永禄四年		疫病	新撰和漢合運図他	綜覧 10-540	諸国疾疫流布す
1562年	1月11日	永禄四年	十一月二十六日	その他	女御田九条方川成注文	教王 10-2725	女御田九条方川成之事／壱斗五升　三郎左衛門／（他八筆略）…御百姓総代（花押）
1563年		永禄六年		疫病	室町安土桃山時代医事年表	室町安土桃山時代医学史の研究	諸国疫疾流行
1563年	5月4日	永禄六年	四月二日	火災	皇年代略記	日本災異志	東寺塔雷火
1563年	6月16日	永禄六年	五月十六日	防災：疫病	言継卿記三-五八八頁	国書刊行会編	嘉例家中衆念仏百万返…消除疫病経〈廿、〉…

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1563年	7月31日	永禄六年	七月二日	洪水	座田文書三	室町幕府文書集成 3917	［室町幕府奉行人奉書　当所名主百姓中宛て］（永禄七・十・二十一）賀茂社片岡橋并橋殿、依去七月二日洪水流失、其外及大破所々等事、不謂権門勢家被官、相懸段銭於境内、可遂造功旨、被成奉書訖、早可致其沙汰之由、所被仰出之状、如件、
1564年	4月27日	永禄七年	三月七日	地震	言継卿記三-六三一頁	国書刊行会編	辰下刻大地震
1564年	8月15日	永禄七年	六月二十八日	その他：風害	言継卿記三-六六〇頁	国書刊行会編	大雨降、風吹、…終夜風吹、
1564年	8月16日	永禄七年	六月二十九日	その他：風害	言継卿記三-六六一頁	国書刊行会編	大雨降、風吹終夜
1564年	8月17日	永禄七年	七月一日	その他：大雨	言継卿記三-六六一頁	国書刊行会編	終夜大雨
1564年	8月18日	永禄七年	七月二日	洪水	言継卿記三-六六一頁	国書刊行会編	早旦洪水之間、林中見舞了、無殊事、正親町小河悉成河、巳刻梨門以下各河崎迄水見物に罷向、東河原如海也、東西共大洪水云々、小川舟橋辺之小家少々損之云々
1564年	8月19日	永禄七年	七月三日	洪水	言継卿記三-六六二頁	国書刊行会編	東川御見物、各参了、水過半引了
1564年	9月16日	永禄七年	八月一日	その他：大雨	言継卿記三-六六八頁	国書刊行会編	亥刻大風雨
1566年	3月6日	永禄九年	二月五日	風害	永禄九年〈丙寅〉記	続群書類従29下-P405	雨、今夜大風吹損事有之、
1566年	7月4日	永禄九年	六月七日	洪水	永禄九年〈丙寅〉記	続群書類従29下-P409	雨、雷鳴・大洪水云々
1566年	7月5日	永禄九年	六月八日	冷害・雪害	享禄以来年代記	続群書類従29下-P242	霜降、大饑、天下三分之一死
1566年	8月24日	永禄九年	七月二十九日	火災	言継記	日本災異志	上京火
1566年	9月16日	永禄九年	八月二十三日	疫病	言継卿記	室町安土桃山時代医学史の研究	夜より南向（言継室）霍乱を煩う、頭痛悪心熱気あり…二十九日、大和宮内大輔診察に来る…瘧病（マラリヤ）と診断（八月二十八日瘧病全治）
1566年	9月16日	永禄九年	八月二十三日	防災：その他	御湯殿上日記	日本凶荒史考	し雨の御いのり、しよ寺しよしやへおほせいたさる
1567年	10月15日	永禄十年	九月三日	洪水	言継卿記四	続群書類従完成会	大井河水出之間、自路次各帰葉室了
1567年	10月19日	永禄十年	九月七日	その他	広隆寺文書	綜覧 10-664	幕府、山城広隆寺をして、旱天の時はその池水を法事田に灌漑せせめ、同寺薬師堂西馬場を寺内に準じて修理を加えしむ
1567年	10月19日	永禄十年	九月七日	防災：その他	御湯殿上日記	日本凶荒史考	し雨の御いのり、しよ寺しよしやへおほせいたさる
1567年	10月20日	永禄十年	九月八日	その他	目代日記	北野天満宮史料	御忌日田損免之事、能哲申候て被来候、…
1568年	7月28日	永禄十一年	六月二十四日	風害	言継卿記四	続群書類従完成会	自夜中風、折草木枝、深雨
1568年	7月28日	永禄十一年	六月二十四日	旱魃・渇水	広隆寺文書	綜覧 10-664	幕府、山城広隆寺をして、旱天の時はその池水を法事田に灌漑せせめ、同寺薬師堂西馬場を寺内に準じて修理を加えしむ
1568年	7月29日	永禄十一年	六月二十五日	洪水	言継卿記	日本凶荒史考	大洪水、葉室令同道水見物に罷向、廿五日以前之水に少残云々、従大井川西七条如海
1568年	7月29日	永禄十一年	六月二十五日	洪水	言継卿記四	続群書類従完成会	大洪水、葉室令同道、水見物に罷向、廿五日以前之水に少残云々、従大井川西七条如海
1568年	7月30日	永禄十一年	六月二十六日	洪水	言継卿記四	続群書類従完成会	朝食以後、水見物に罷出、自昨日莫大落了、但未舟不渡之、
1568年	8月9日	永禄十一年	七月六日	洪水	言継卿記四	続群書類従完成会	大水出云々、
1569年	9月4日	永禄十二年	七月十三日	その他：大雨	言継卿記四	続群書類従完成会	自巳刻雨降、終夜大風大雨

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1569年	9月22日	永禄十二年	八月二日	風害	言継卿記四	続群書類従完成会	雨降、大風、亥刻罷、…以外大風、旅宿之やね悉破却、仍西隣〈与五郎子他〉之二階へ移了、方々所々破損了
1570年	6月22日	永禄十三年	五月九日	地震	言継卿記四	続群書類従完成会	午刻大地震
1571年		元亀二年		洪水	言継卿記	日本凶荒史考	大洪水、葉室令同道水見物に罷向、廿五年以前水に小浅云々、従大井川西七条如海
1571年	1月12日	元亀一年	十二月七日	火災	御浴殿日記	日本災異志	一條火、延焼二大聖寺一
1572年	4月30日	元亀三年	三月八日	冷害・雪害	永禄以来年代記	続群書類従29下-P267	夜名残ノ霜アリテ、木草ノ若葉、悉ク枯シホミ、野山モ火ニテ、焼タルコトクニ成、
1572年	6，7月 (6.21-7.19)	元亀三年	五月	冷害・雪害	永禄以来年代記	続群書類従29下-P267	中比、大雨風、霰フル事、ヲヒタヽシ、松尾ノ御祟ト云々、
1573年	5月15日	天正一年	四月四日	火災	年代記首書	日本災異志	京師火
1573年	10月4日	天正一年	八月二十八日	その他：風害	皇年代私記	改定史籍集覧19-P78	大風、
1573年	10月4日	天正一年	八月二十八日	その他：風害	皇年代略記	新校群書類従2-P221	大風、
1573年	9，10月 (9.7-10.5)	天正一年	八月	風害	永禄以来年代記	続群書類従29下-P270	夜、大風、上京中ノ家・小屋、千間許吹倒ス、
1576年	6月24日	天正四年	五月十八日	冷害・雪害	兼見卿記一	史料纂集	未刻俄大夕立、電雷頻、数刻之内、雹降如木連子、当草木枝葉悉破損、希代之事歟
1576年	6月28日	天正四年	五月二十二日	洪水	兼見卿記一	史料纂集	自未明雨降、俄洪水、止京都通路、此間炎旱、土民得気而耕之
1576年	7月5日	天正四年	五月二十九日	洪水	言継卿記六	続群書類従完成会	伏見殿御前・正親町前・甘等ニ水出了
1578年	6月27日	天正六年	五月十二日	洪水	公卿補任	日本の気象史料	大洪水
1578年	6月27日	天正六年	五月十二日	洪水	兼見卿記一	史料纂集	洪水以外也、屋敷之内・少（小）路以下無正鉢、浄土寺之者於山中路流死、白川在家廿間計流損、洛中少路如大川、希代也、先年辰歳（天文十三年）卅余年、倍増洪水云々
1578年	6月27日	天正六年	五月十二日	洪水	皇年代私記	改定史籍集覧19-P78	大雨洪水、
1578年	6月27日	天正六年	五月十二日	洪水	皇年代略記	新校群書類従2-P221	大雨・洪水
1578年	7月1日	天正六年	五月十六日	防災：その他	兼見卿記一	史料纂集	止雨御祈之事、自万弁（万里小路充房）使者、非口宣案、略儀
1578年	7月14日	天正六年	五月二十九日	洪水	兼見卿記一	史料纂集	社頭之路次損山水、申付普請
1578年	7月18日	天正六年	六月四日	その他	兼見卿記一	史料纂集	大工三人、堀・厩・中間部屋以下申付普請（水害普請）
1578年	12月7日	天正六年	十月二十八日	洪水	兼見卿記一	史料纂集	先度之大水ニ山中路無正鉢、為可申付、村長普請被罷出、予可来之由使者之間罷出、申付十郷可馳走之由被申也、惣別免除也、殊更諸郷之付合迷惑之由、達而申理了（十月条に山中路普請の記事五か条あり、省略）
1578年	10，11月 (10.11-11.9)	天正六年	九月	洪水	日本野史	日本震災凶饉攷	大水
1579年	7月4日	天正七年	六月一日	その他：風害	言継卿記一	大日本古記録	風雨入夜大風、丑刻ニ至、
1580年	7，8月 (7.22-8.20)	天正八年	六月	疫病	皇年代私記	改定史籍集覧19-P78	春夏、大疫、人多死、
1580年	7，8月 (7.22-8.20)	天正八年	六月	疫病	皇年代略記	新校群書類従2-P221	春夏、大疫、人多死、
1581年	6月30日	天正九年	五月十九日	洪水	兼見卿記一	史料纂集	午刻俄大雨、入夜頻、川原洪水不通也
1581年	7月1日	天正九年	五月二十日	洪水	兼見卿記一	史料纂集	早（々）退出、川原洪水依不通、…領内川原悉水損了、四条之橋落也
1581年	7月16日	天正九年	六月六日	風害	兼見卿記一	史料纂集	夜明雨、大風雨、竹木之枝吹折、巳刻風止
1582年	4月3日	天正十年	三月一日	冷害・雪害	晴豊記	続史料大成9-190	夜中風あらく吹、一日あられ雪降也、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1582年	4月30日	天正十年	三月二十八日	その他：大雨	晴豊記	続史料大成 9-198	雨降風吹下
1582年	9月28日	天正十年	九月二日	その他：大雨	言継卿記一	大日本古記録	子刻ヨリ卯刻マデ大雨風
1583年	1月24日	天正十一年	一月一日	火災	年代記抄節	日本災異志	京都火、上京焼亡
1583年	2月９日	天正十一年	一月十七日	風害	兼見卿記二	史料纂集	申下刻大風以外他、大木枝吹折也、入夜大［　］風之内雪霰降也
1583年	2月10日	天正十一年	一月十八日	冷害・雪害	兼見卿記二	史料纂集	今朝大雪積
1583年	2月27日	天正十一年	一月五日	冷害・雪害	兼見卿記二	史料纂集	［去］月侍従方へ之女房衆（長岡藤孝の女）上洛之処､注進以来大雪以外［他カ］、乗物以下且以不成自由
1583年	7月２日	天正十一年	五月十三日	洪水	兼見卿記二	史料纂集	雨降、川原洪水、往還不成、浄蓮華寺植田地…
1583年	7月４日	天正十一年	五月十五日	その他	兼見卿記二	史料纂集	半夏生、農業悉耕之云々
1583年	9月８日	天正十一年	七月二十二日	洪水	永禄以来年代記	続群書類従 29下 -P273	大水出
1583年	9月９日	天正十一年	七月二十三日	洪水	兼見卿記二	史料纂集	早天退出、昨夜風雨、至今朝未止、東河原洪水、為迎馬各来之間、帰宅了
1583年	9月10日	天正十一年	七月二十四日	洪水	兼見卿記二	史料纂集	自昨夜雨止晴、以外洪水、境内所々田地流損之由申了、山中路道作之事、…今夜当郷へ申懸之義、悉皆自白川其沙汰了
1583年	11月14日	天正十一年	九月三十日	その他：大雨	兼見卿記二	史料纂集	今夜大雨降、旅宿不弁也、…雨キ（モ）リ迷惑也
1583年	11月21日	天正十一年	十月七日	その他	兼見卿記二	史料纂集	天晴、風寒、吉日之間収納、当年所々損免、社殿不相替毛頭無申分、神恩也…
1584年	6月30日	天正十二年	五月二十二日	旱魃・渇水	兼見卿記二	史料纂集	天晴、当月中不雨降、田地之耕、作一切不及其沙汰、畠田之五穀変色、如此之炎旱、先代未聞之由申了
1584年	7月22日	天正十二年	六月十五日	洪水	兼見卿記二	史料纂集	度々夕立、川上水出之間、端田地至今日植之、新開悉植之、三段不植之、半夏生廿日已後也
1584年	8月５日	天正十二年	六月二十九日	旱魃・渇水	兼見卿記二	史料纂集	打続炎旱、田畠悉変色了、廿年以来如此炎旱無之由申訖
1584年	8月21日	天正十二年	七月十六日	旱魃・渇水	兼見卿記二	史料纂集	当月殊更炎天、雨終ニ不夕立、田畠悉枯［　］、公私迷惑了
1584年	8月27日	天正十二年	七月二十二日	防災：旱魃・渇水	兼見卿記二	史料纂集	炎旱御祈之事、中御門宣光口宣到来…
1584年	9月１日	天正十二年	七月二十七日	防災：旱魃・渇水	兼見卿記二	史料纂集	炎旱之御祈祭文書之、修行之中誦之訖、寛元元年炎旱之時、於神泉苑祈雨次第在之、兼直一参勤、三日之中大雨降、其時之祭文、唯神院殿遊之、今度祭文計書抜之、令修行了
1584年	9月３日	天正十二年	七月二十九日	防災：その他	兼見卿記二	史料纂集	午刻大雨降、祈雨修行今朝結願、進上御祓頃雨降、天道感応最寄特也、新道之威力弥可奉仰、満足々々
1584年	9月７日	天正十二年	八月三日	洪水	兼見卿記二	史料纂集	至今朝雨降、賀茂川・高野川流出、川原大水也、田地悉旱損、此度之水不入由申訖、
1584年	12月30日	天正十二年	十一月二十九日	地震	享禄以来年代記	続群書類従 29下 -P242	地大震、踰年不止、
1585年	6月26日	天正十三年	五月二十九日	火災	年代抄節記	日本災異志	千本ノ浄禪寺火
1585年	7月17日	天正十三年	六月二十日	洪水	天正年代記	日本震災凶饉攷	大風洪水
1585年	7月17日	天正十三年	六月二十日	洪水	永禄以来年代記	続群書類従 29下 -P274	大水出
1585年	7月31日	天正十三年	七月五日	地震	永禄以来年代記	続群書類従 29下 -P274	地震、
1586年	1月18日	天正十三年	十一月二十九日	地震	豊鑑	日本震災凶饉攷	亥時より子時に至り、地大に震る、畿内及び東海北陸三道ことに甚し、地裂け水涌、屋舎毀壊し、圧死するもの算なし
1586年	1月18日	天正十三年	十一月二十九日	地震：その他	梵舜記	日本震災凶饉攷	近国の浜海、水溢れ溺死するもの数多し、斯後震動十二日

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1586年	1月18日	天正十三年	十一月二十九日	地震	永禄以来年代記	続群書類従29下-P274	夜、亥刻ヨリ、子ノ刻マテ、大地震、光物飛渡、其後、日夜動事不止、
1586年	2月27日	天正十四年	一月九日	地震	目代日記	北野天満宮史料	此砌ハ大地しん、かれ是ニ国々の寺社へ御祈たうなとまて被仰付候ニ、…
1586年	3月14日	天正十四年	一月二十四日	その他	貝塚御座所日記五	寺内町研究5	京都ニ大雷只一ツ鳴タルト云々
1586年	7月19日	天正十四年	六月三日	洪水	中山家文書二六	臨川書店	［羽柴秀吉朱印状　山崎志摩守（片家）・中川右衛門大夫（秀政）宛て］（前切断）川水出候之条、材木無由断可引上之候也、
1586年	10月28日	天正十四年	九月十六日	冷害・雪害	多聞院日記	大日本史料11-8	京師大なる雹ふる
1586年	10月28日	天正十四年	九月十六日	冷害・雪害	多聞院日記略	日本の気象史料	京師大なる雹ふる
1586年	12月11日	天正十四年	十一月一日	地震	完訳フロイス『日本史』	中公文庫版3-196-P199	本年（一五）八六年に、堺と都からその周辺一帯にかけて、きわめて異常で恐るべき地震が起った。それはかつて人々が見聞したことがなく、往時の史書にもよまれたことのなkほどすさまじいものであった。というのは、日本の諸国ではしばしば大地震が生じることはさして珍しいこ
1586年	12月11日	天正十四年	十一月一日	地震	完訳フロイス『日本史』	中公文庫版3-P198	都では、若干の家屋と壬生の堂と称せられる大きい社が倒れた。
1587年	3月12日	天正十五年	二月四日	その他：風害	言経卿記二	大日本古記録	入夜暴雨風、雷鳴
1587年	3月13日	天正十五年	二月五日	冷害・雪害	時慶記上十二頁	臨川書店	丑刻計ニ大雷電、霰頻降、
1587年	4月28日	天正十五年	三月二十一日	その他：大雨	時慶記上二二頁	臨川書店	又大雨降出也、…夜大風吹出也
1587年	5月12日	天正十五年	四月五日	その他：風害	時慶記上二六頁	臨川書店	午刻…俄ニ大風、大雨降、一時程シテ晴、
1587年	5月21日	天正十五年	四月十四日	その他：風害	時慶記上二七頁	臨川書店	及晩大雨降風吹也、雷鳴ス、
1587年	5月22日	天正十五年	四月十五日	その他：大雨	時慶記上二七頁	臨川書店	雨猶不止、草木ヲ損、
1587年	6月14日	天正十五年	五月九日	その他：大雨	時慶記上三四頁	臨川書店	祭礼ノ時ハ雨晴、又帰路時分大雨也、
1587年	6月28日	天正十五年	五月二十三日	洪水	時慶記上三七頁	臨川書店	大雨洪水出、
1587年	6月29日	天正十五年	五月二十四日	洪水	言経卿記二	大日本古記録	洪水…梅庵（大村由己）女中ヨリ金蔵坊使ニテ、洪水無心元之由被申、
1587年	6月29日	天正十五年	五月二十四日	その他：大雨	時慶記上三七頁	臨川書店	大雨ハ止、時々少如時雨洒、
1587年	6月30日	天正十五年	五月二十五日	洪水	言経卿記二	大日本古記録	洪水見物ニ徘徊了
1587年	7月15日	天正十五年	六月十一日	冷害・雪害	時慶記上四一頁	臨川書店	晴陰、涼気如秋、
1587年	7月16日	天正十五年	六月十二日	その他：大雨	時慶記上四一頁	臨川書店	大雨、午後ヨリ晴天、寒［　］也、
1587年	7月17日	天正十五年	六月十三日	冷害・雪害	時慶記上四二頁	臨川書店	天晴陰、涼気甚、当年ノ涼気ハ老人モ不覚儀ト也、大略人袷或小袖ヲ着也、昔宗閑（山崎宗鑑カ）発句二、六月、氷室守こゝへ死ぬへき今年哉ト仕しとなり、…天陰不晴寒気甚、…少時雨如
1587年	7月24日	天正十五年	六月十九日	その他：大雨	時慶記上四四頁	臨川書店	大雨降、又止、
1587年	7月26日	天正十五年	六月二十一日	その他：大雨	時慶記上四四頁	臨川書店	雨天、如夕立五月雨、不天晴
1587年	8月2日	天正十五年	六月二十八日	その他：風害	時慶記上四六頁	臨川書店	夜中ヨリ風荒吹出也、
1587年	8月3日	天正十五年	六月二十九日	風害	時慶記上四六頁	臨川書店	雨中ヨリ風雨シテ垣壁ヲ損ス、帰宅シテ壁ノ覆ヲ直サスル也、風ハ漸止テ大雨ス、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1587年	８月４日	天正十五年	七月一日	その他：風害	言経卿記二	大日本古記録	夜大風雨
1587年	８月５日	天正十五年	七月二日	洪水	言経卿記二	大日本古記録	洪水
1587年	８月５日	天正十五年	七月二日	洪水	時慶記上四七頁	臨川書店	夜中大風大雨、一昨夜ノ風ハ艮、今夜ノハ坤也、洪水出、…上鳥羽ノ在所端ヨリ乗船シテ行ニ、畠中ハ如大海、彼浪高シテ標行侭ニ、程ナク着、…
1587年	８月６日	天正十五年	七月三日	洪水	言経卿記二	大日本古記録	洪水
1587年	11月15日	天正十五年	十月十五日	その他：大雨	時慶記上六二頁	臨川書店	夜中ヨリ雨天、大風吹、
1588年		天正十六年		疫病	室町安土桃山時代医事年表	室町安土桃山時代医学史の研究	諸国疫病流行
1588年		天正十六年		冷害・雪害	本朝年代記	原田信男［中世東国災害史略年表］	この年、大いに雹降る
1588年	７月29日	天正十六年	六月二十四日	その他	言経卿記三	大日本古記録	サイカ町へ落雷云々、人ヲ損云々
1588年	８月６日	天正十六年	七月五日	その他	言経卿記三	大日本古記録	普請共井ヲ掘了
1589年		天正十七年		冷害・雪害	本朝年代記	原田信男［中世東国災害史略年表］	この年、大いに雹降る
1590年		天正十八年		冷害・雪害	本朝年代記	原田信男［中世東国災害史略年表］	この年雹降る、栗の如し
1590年		天正十八年		冷害・雪害	本朝年代記	原田信男［中世東国災害史略年表］	この年雹降る、栗の如し
1590年	５月４日	天正十八年	四月一日	冷害・雪害	晴豊記	続史料大成9-229	朝あられ事外降也
1590年	５月７日	天正十八年	四月四日	その他：大雨	晴豊記	続史料大成9-229	晩雨降、事外らいなる也
1590年	５月10日	天正十八年	四月七日	その他：大雨	晴豊記	続史料大成9-231	晩より大雨降、
1590年	９月１日	天正十八年	八月三日	火災：風害	晴豊記	続史料大成9-256	朝晴、晩ヨリ少降、夜入、大風大雨ことこと敷事無斗候、夜七時分大風大雨のさ中に、おはりたいふ屋かたやけ出、残らすやけ、
1590年	９月16日	天正十八年	八月十八日	その他：大雨	晴豊記	続史料大成9-261	夕方さいれいの時分、大雨降也、
1591年	４月21日	天正十九年	二月二十八日	冷害・雪害	時慶記上一〇三	臨川書店	雨天、大雷電、霰降、
1591年	４月23日	天正十九年	二月三十日	冷害・雪害	時慶記上一〇三	臨川書店	雪霰降、山白シ、大風吹、天晴陰、
1591年	６月28日	天正十九年	五月八日	その他	時慶記上一二〇	臨川書店	天晴、及晩夕立雷鳴、
1591年	７月６日	天正十九年	五月十六日	その他：大雨	時慶記上一二二	臨川書店	夜中雷鳴甚雨頻也、明テ雨止、
1591年	７月10日	天正十九年	五月二十日	その他	時慶記上一二四	臨川書店	暑熱甚、
1591年	７月31日	天正十九年	六月十一日	その他：大雨	時慶記上一二六	臨川書店	暁大雨、明テ天晴
1591年	８月２日	天正十九年	六月十三日	その他：大雨	時慶記上一二六	臨川書店	入夜大雨シテ晴、
1591年	８月３日	天正十九年	六月十四日	冷害・雪害	時慶記上一二七	臨川書店	夜寒如季秋、
1591年	８月７日	天正十九年	六月十八日	冷害・雪害	皇年代略記	新校群書類従2-P222	大雹降、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1591年	8月11日	天正十九年	六月二十二日	その他	時慶記上一二八	臨川書店	暑気甚、
1591年	8月12日	天正十九年	六月二十三日	その他	時慶記上一二八	臨川書店	暑甚、
1591年	8月14日	天正十九年	六月二十五日	その他：大雨	時慶記上一二九	臨川書店	夜大雨、雷鳴
1591年	8月17日	天正十九年	六月二十八日	その他	時慶記上一二九	臨川書店	雷鳴夕立候、
1591年	8月17日	天正十九年	六月二十八日	冷害・雪害	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P78	大雹降、
1591年	8月21日	天正十九年	七月三日	その他	時慶記上一三一	臨川書店	天晴、又暑気甚シ、
1591年	8月31日	天正十九年	七月十三日	冷害・雪害	時慶記上一三四	臨川書店	申刻ニ夕立、雷鳴大霰降候、
1591年	9月5日	天正十九年	七月十八日	その他	時慶記上一三五	臨川書店	依残暑甚、月更迄語候、
1591年	9月7日	天正十九年	七月二十日	その他	時慶記上一三六	臨川書店	天晴、暑甚、
1591年	9月12日	天正十九年	七月二十五日	その他：大雨	時慶記上一三七	臨川書店	天晴、午暴雨、
1591年	9月16日	天正十九年	七月二十九日	その他：大雨	時慶記上一三八	臨川書店	大雨・雷電甚、
1591年	10月23日	天正十九年	九月六日	その他：大雨	時慶記上一四七	臨川書店	暁天雨、雷鳴候、
1592年	6月19日	文禄一年	五月十日	その他：大雨	言継卿記五	大日本古記録	午刻ヨリ大雨、暮々亥刻マテ風
1592年	6月24日	天正二十年	五月十五日	洪水	西院村東寺領流田注文	教王 10-2990	西院村東領水なかれ田地おほへ／かい川　弐段　つゝミきれ口三十間くい八拾本　今さいけ　又衛門／（他九筆略）…
1593年	3月20日	文禄二年	二月十八日	冷害・雪害	時慶記上一六六	臨川書店	暁天大雪、如寒中万山白、日中ハ雨晴陰、
1593年	4月8日	文禄二年	三月七日	その他：風害	時慶記上一七二	臨川書店	悪風吹テ相煩
1593年	5月28日	文禄二年	四月二十八日	その他：大雨	時慶記上一八九	臨川書店	天晴、午過ヨリ大雨、
1593年	5月29日	文禄二年	四月二十九日	その他：大雨	時慶記上一八九	臨川書店	雨天雷鳴
1593年	6月25日	文禄二年	五月二十六日	洪水	時慶記上一九九	臨川書店	雨天洪水、
1593年	6月26日	文禄二年	五月二十七日	その他：大雨	時慶記上一九九	臨川書店	大雨天、七条へ端坊へ水、無心元トテ人ヲ遣候、
1593年	7月10日	文禄二年	六月十二日	その他：大雨	時慶記上二〇三	臨川書店	雨天、…午雷鳴甚、
1593年	7月15日	文禄二年	六月十七日	その他	時慶記上二〇五	臨川書店	夜暑甚、
1593年	7月27日	文禄二年	六月二十九日	その他：大雨	時慶記上二〇八	臨川書店	極熱、少時夕立雷鳴ス、
1593年	7月29日	文禄二年	七月二日	その他：大雨	時慶記上二〇八	臨川書店	少時夕立荒シ雷鳴ス、
1593年	8月6日	文禄二年	七月十日	その他	時慶記上二一一	臨川書店	暑気甚シ、
1593年	8月10日	文禄二年	七月十四日	その他	時慶記上二一三	臨川書店	大夕立雷鳴候、
1593年	8月18日	文禄二年	七月二十二日	火災	分類本朝年代記	日本災異志	東寺塔火
1593年	8月19日	文禄二年	七月二十三日	その他	時慶記上二一五	臨川書店	天晴、暑甚、
1593年	9月1日	文禄二年	八月六日	その他	時慶記上二一九	臨川書店	陰天、残暑甚、
1593年	9月3日	文禄二年	八月八日	旱魃・渇水	時慶記上二二〇	臨川書店	天下水旱也、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1593年	９月６日	文禄二年	八月十一日	その他	時慶記上二二〇	臨川書店	天晴、昨今残暑甚シ、
1593年	９月７日	文禄二年	八月十二日	その他：大雨	時慶記上二二一	臨川書店	今暁雷電大雨、昼モ大雨又雷鳴ス、
1593年	10月３日	文禄二年	九月九日	風害	時慶記上二二八	臨川書店	雨天、大風損屏以下、
1593年	10月19日	文禄二年	九月二十五日	地震	時慶記上二三三	臨川書店	夜半ニ地振動甚シ、
1594年	２月10日	文禄二年	十二月二十日	疫病	時慶記上二六七	臨川書店	世上風邪流注ス、
1594年	２月15日	文禄二年	十二月二十五日	疫病	時慶記上二六七	臨川書店	天下疫病流行、残暑一人モ無、上一人ヨリ下方民皆病、不思儀ノ事共也
1595年	７月13日	文禄四年	六月七日	洪水	言継卿記六	大日本古記録	雨、洪水、大雨、…洪水見物ニ罷出之処ニ…
1595年	９月13日	文禄四年	八月十日	その他：大雨	言継卿記六	大日本古記録	巳刻ニ大風雨、屋ノヤネ破損、…
1595年	９月13日	文禄四年	八月十日	洪水	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P78	大雨洪水
1595年	９月13日	文禄四年	八月十日	洪水	皇年代略記	新校群書類従 2-P222	大雨・洪水、
1596年	７月７日	文禄五年	六月十二日	その他	享禄以来年代記	続群書類従 29 下 -P256	泥土降、又氷毛、
1596年	８月５日	文禄五年	七月十二日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P79	大地震、逾月不止、京師・畿内・関東諸国降毛四五寸、
1596年	９月４日	文禄五年	七月十二日	地震	享禄以来年代記	続群書類従 29 下 -P256	大地震、禁中築地・堂舎、伏見矢倉、男女圧死者多、大仏像腹崩、止供養事、
1596年	９月４日	文禄五年	七月十二日	地震	皇年代略記	新校群書類従 2-P222	大地震、逾月不止、京師・畿内・関東諸国、降毛四、五寸、
1596年	９月４日	慶長一年	七月十二日	地震	梵舜記・續皇年代略記・泰平年表・日本野史	日本災異志	閏七月十二日、地大震、畿内最甚矣、大佛殿、北野経堂及東寺金堂顛倒、京中諸寺総壊損、死者敷萬人、（梵舜記）伏見城殿舎顛倒、上臈女房七十三人、中居下婢五百餘人共壓死（御浴殿日記）（信越地震記）其外山崩地裂泥涌、濵海水溢、人屋蟄陷、人畜死傷亦亡算、迨冬地震猶不止（日本野史）是日京都及關東諸国、雨毛四五寸（續皇年代略記）〇柳營秘鑑年代記及本朝地震考閏七月五日地大震逾月而不正
1596年	９月５日	慶長一年	七月十三日	地震	梵舜記	日本災異志	閏七月十三日、内府徳川家康、赴于伏見沿道屋舎悉破倒、是日地屢震
1596年	９月９日	慶長一年	七月十七日	地震	梵舜記	日本災異志	地震清水寺外廊顛倒
1599年	１月30日	慶長四年	一月四日	火災	日本野史	日本災異志	東寺火
1599年	２月21日	慶長四年	一月二十六日	火災	日本野史	日本災異志	東寺火
1601年		慶長六年		疫病	逸史	日本災異志	山東疫疾大行
1601年		慶長六年		その他：大雨	一六〇一,〇二年の日本の諸事	十六・七世紀イエズス会日本報告集Ⅰ -4-P88	（年次は推定）この苦難は、日本で何年ぶりかの大凶作と飢饉の年に起こっただけに、いっそう辛く厳しかった。なぜなら、日本中に降った大雨で、稲、小麦、大麦、その他の食糧は、すでに穂が出ていながら、ひどく腐敗し、ほとんどたすからなかったからであ
1601年	９月９日	慶長六年	八月十三日	洪水	梵舜日記	綜覧 13-304、日本の気象史料	雨降、富森在已下洪水指入、次淀大橋落
1601年	12月４日	慶長六年	十一月十日	その他	当代記	綜覧 13-313	京都土を降らす
1601年	９，10月 (9.26-10.25)	慶長六年	九月	その他	当代記	綜覧 13-308	是秋、諸国凶す
1602年	１月15日	慶長七年	十二月四日	火災	皇年代略記・續皇年代略記	日本災異志	東寺大佛殿火
1602年	10月12日	慶長七年	八月二十七日	洪水：その他	舜旧記・当代記	綜覧 13-333	山城風雨洪水